

# 特別活動部会

## 研究主題

一人一人のよさを生かしながら、  
進んで実践しようとする子どもを育てる指導

### 1 主題について

今年度は、昨年度までの主題を継続し、学級活動を中心として取り組むことにした。話合いのための手立てや、集団思考を生かした自己決定の在り方について研究を深めてきた。

### 2 今年度の取組

月 日	実 践 内 容	月 日	実 践 内 容
4月13日	第1回総合研究会 研究主題設定・年間計画作成	11月11日	第2回総合研究会 授業研究（釈迦内小学校）

### 3 研究内容

#### (1) 授業研究

- ・期 日 平成23年11月11日（金）
- ・会 場 釈迦内小学校
- ・単元名 成長期の栄養の大切さ
- ・授業者 高橋 弘樹
- 「こつこつカルシウム貯金」（5年）
- 榎木 睦美

#### ① 授業者から

- ・実践的食育、栄養教諭との連携など釈迦内小のよさを生かした授業をしたいと考えた。
- ・子どもたちに食事のとり方の大切さを学ばせ、家庭との連携を図り、意識を高めたいと考えた。
- ・食事調べは、家庭科の時間を使い、事前に実施した。
- ・「つかむ」の段階に時間がかかってしまい、話合いに時間をかけられなかった。



【「コツコツすごろく」でチェック】

#### ② 協 議

- ・「コツコツすごろく」、「プレゼン」が、子どもの意識を高めた。1日のカルシウムの必要量が800mgだというカードを提示したとき、さらに問題意識が高まった。
- ・「コツコツすごろく」や「プレゼン」の中に、本時の授業で考えなければならないものが入っていて、効果的なものだった。
- ・資料提示のタイミングがよく、内容も適切だったので、グループの話合いが活発になった。
- ・実践につながるよう、個々への指導を全体に広げる働きかけがあればよかった。
- ・食育の授業をすると、嫌いなものとして野菜が多くあげられ、なかなか直せないで終わってしまう。今日の授業は、カルシウムを取り上げていたので、いろいろな食材や料理があ

り、子どもたちが摂取量を多くしようとやる気になった。

- ・今日の授業で計画したことを実践して、振り返ることが必要である。
- ・学習のしつけや教師と子どもの関係がよい学級で、自然に無理なく学び合っていた。



【問題解決のための活発な話し合い】

## (2) 指導助言（高橋 敏治 指導主事）

### ① 学習指導要領のポイントについて

- ・望ましい集団を作るために、特活の授業を行っていかなければならない。
- ・小学校の学級活動の内容の共通事項は、（１）学級や学校の生活づくり（２）日常生活や学習への適応及び健康安全である。本時は、（２）のキに関する授業であった。
- ・話し合いを通して、自己決定していくことを意識させてほしい。
- ・指導要録の記入は、３観点で評価し、記入する。

### ② 授業について

- ・カルシウム不足を確認するには、「コツコツすごろく」、「プレゼン」は、効果的だったが、時間がかかりすぎた。「コツコツすごろく」は、事前にやらせておいてもよかった。
- ・「プレゼン」の内容が、本時に不必要なものもあった。また、言葉が専門的で難しいものもあった。内容を精選した方がよい。
- ・子どもたちは、話し合いの訓練がよくできていた。学習のしつけもよくできていた。
- ・グループから出た意見を板書しながら、全体で確認したのは、よかった。
- ・カルシウムを十分に摂取するための計画を立てるところに、もう少し時間をかけたかった。
- ・よく考えられた授業だった。家庭とも協力して、実践してほしい。

### ③ その他

- ・食育の年間指導計画は、学年の段階を十分に考慮して内容を検討し計画してほしい。
- ・学級活動の内容が新学習指導要領に合っているか確認してほしい。

## 4 成果と課題

### (1) 成果

- ・栄養教諭をTTとして活用する授業や専門的な資料が、子どもたちの学習に対する意識を高めた。
- ・特活の授業と他教科、他領域との連携や家庭への働きかけが学習の幅を広げ、実践につながっている。

### (2) 課題

- ・導入に時間をかけずに、自己決定する段階にしっかり時間をとれるような授業構成の工夫が必要だ。